

効果検証 WG の概要

1. 目的

以下の観点について、実証地域共通で本実証事業の効果を検証

- 学習指導、生徒指導、学校経営の改善
- 情報セキュリティの理解、個人情報の取扱いに関する意識の変容 等

2. 効果検証 WG について

本効果検証の調査方針、調査内容等は、事業推進委員会、評価委員会の委員からなる効果検証 WG による議論、検討の上で作成した。

効果検証 WG 構成員	
清水 康敬	東京工業大学 学長相談役・名誉教授
秋元 大輔	さわやかちば県民プラザ 所長
小泉 カ一	尚美学園大学大学院芸術情報研究科 教授
新保 元康	札幌市立屯田小学校 校長
高橋 邦夫	豊島区区民部税務課 課長
玉置 崇	岐阜聖徳学園大学教育学部 教授

3. これまでの検討状況、今後の予定

日程	作業
1/19	効果検証 WG メンバに対する事前説明
1/19～1/28	効果検証 WG 委員より効果検証案の検討
1/31	第 1 回効果検証 WG
1/31～2/2	効果検証 WG 委員より効果検証案の再検討
2/3～2/13	事務局よりアンケート様式案を作成
2/14	第 2 回効果検証WG
2/14～2/20	アンケート様式の検討
2/20～2/26	実証地域への案内・発送
2/26～	実証校への展開・実施・回収
3/12～約 3 週間	アンケートの集計
4 月以降	アンケートの分析

4. 実施方法（平成29年度）

アンケートによる調査を実施。各項目には、本実証前後で変容が予想される項目が設定されており、今回の調査は実証前の事前調査としての位置付けで実施する。

種別	対象	設問数
管理職用	全実証校の全管理職 [※]	フェイスシート4問 4択式24問、自由記述1問
教員用	全実証校の全教員 [※]	フェイスシート16問 4択式40問、自由記述2問
児童生徒用	全実証校の小学校3-6学年・ 中学校1-3学年の全児童生徒	フェイスシート1問 4択式28問、自由記述1問

5. 調査対象数（平成29年度）

	小学校				中学校			
	学校数	全教員数	管理職数	児童数 (対象学年)	学校数	全教員数	管理職数	生徒数 (対象学年)
新地町	3	33	6	330	1	23	2	251
渋谷区	2	35	4	407	1	21	2	259
大阪市	3	64	6	597	2	68	4	952
奈良市	3	89	7	1084	1	20	1	229
西条市	2	41	5	324	1	27	2	406
西条市 (非実証校)	2	36	4	0	1	31	2	0
合計	15	298	32	2742	7	190	13	2097

※ 管理職・教員用については西条市の協力を得て、非実証校3校（小学校2校、中学校1校）においても実施

6. 備考

- ・ 実証地域や個人名を明らかにした分析は行わない。
- ・ 本調査では、経年変化の分析を行うため、回答者ごとに回答の追跡を行う。
- ・ 集計した結果については、自地域の実証校のデータのみ、回答者を特定する項目を除いて提供致す。このデータを利用して、各実証地域独自の分析を行っても構わない。

7. 次年度以降のアンケート調査について

- ・ 年2回ずつ（9月頃・2月頃）の実施を予定
- ・ 非実証校におけるアンケート等の実施（実証校、非実証校間での比較を行うため）